

平成24年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月9日

上場会社名 カルナバイオサイエンス株式会社 上場取引所 大
 コード番号 4572 URL <http://www.carnabio.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉野公一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 相川 法男 TEL 078-302-7075
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第3四半期の連結業績(平成24年1月1日~平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第3四半期	370	△17.1	△364	—	△347	—	△354	—
23年12月期第3四半期	447	3.4	△287	—	△232	—	△250	—

(注) 包括利益 24年12月期第3四半期 △350百万円(—%) 23年12月期第3四半期 △252百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第3四半期	△6,038 23	—
23年12月期第3四半期	△4,261 44	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第3四半期	903	668	74.0
23年12月期	1,317	1,019	77.4

(参考) 自己資本 24年12月期第3四半期 668百万円 23年12月期 1,019百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	0 00	—	0 00	0 00
24年12月期	—	0 00	—		
24年12月期(予想)				0 00	0 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日~平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	728	22.9	△305	—	△289	—	△296	—	△5,058 14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年12月期3Q	58,710株	23年12月期	58,710株
24年12月期3Q	—株	23年12月期	—株
24年12月期3Q	58,710株	23年12月期3Q	58,710株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、欧州債務危機に端を発する信用不安が継続し、中国の成長の鈍化が一段と懸念されるなかで、円高基調の為替相場が企業経営を圧迫するなど、先行き不透明な状況で推移いたしました。当社グループが属する製薬業界におきましては、医療制度改革やジェネリック医薬品への代替が着実に進行する中で、大手製薬企業における収益悪化が、オープンイノベーションの環境を加速化させており、新薬候補パイプラインの導入ステージの早期化やバイオベンチャー等の買収並びに大学等との共同研究の再評価となって現れてきております。

このような外部環境の中、当社グループは、キナーゼ創薬に係る創薬基盤技術を核とした創薬支援事業並びに創薬事業を積極的に展開し、事業の拡大を図ってまいりました。

セグメント別には、創薬支援事業におきましては、従来製品、サービスの継続的受注の確保に取り組むとともに、国立がん研究センターから技術導入したRPPA技術に基づくリン酸化シグナル解析サービスの事業化等、新規製品、サービスの開発に積極的に取り組んでまいりました。また、創薬事業におきましては、キナーゼを標的とした創薬研究を精力的に推進してまいりました。特に重点疾患領域と位置づけているガン領域において、SBIバイオテック株式会社との共同研究で見出されたCDC7キナーゼを強力に阻害する化合物がヒト腫瘍を用いた担ガン動物モデルに対して有効であることを確認し、前臨床研究段階へのステージアップを決定いたしました。その他のガン疾患領域及び免疫炎症疾患領域においても精力的に研究を進めており、加えてアルツハイマー病等の神経変性疾患を治療しうる画期的な薬剤の研究についても順調に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は370百万円（前年同四半期比17.1%減）、営業損失は364百万円（前年同四半期は287百万円の損失）、経常損失は347百万円（前年同四半期は232百万円の損失）、四半期純損失は354百万円（前年同四半期は250百万円の損失）となりました。

セグメント別の業績は次の通りです。

①創薬支援事業

キナーゼタンパク質の販売、アッセイ開発、プロファイリング・スクリーニングサービスの提供等により、創薬支援事業の売上高は370百万円（前年同四半期比13.4%減）、営業利益は15百万円（前年同四半期比79.0%減）となりました。売上高の内訳は、キナーゼタンパク質の販売160百万円（前年同四半期比30.2%減）、アッセイ開発32百万円（前年同四半期比4.0%増）、プロファイリング・スクリーニングサービス128百万円（前年同四半期比15.7%減）、その他は48百万円（前年同四半期比246.8%増）であります。なお、その他の大幅な増加は、ACD社セルベースアッセイサービス並びにCreLux社X線結晶構造解析サービスの売上によるものであります。

②創薬事業

当第3四半期連結累計期間の創薬事業において、売上高の計上はなく（前年同四半期は19百万円）、営業損失は379百万円（前年同四半期は359百万円の損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

	前連結会計年度末	当第3四半期 連結会計年度末	増減
総資産 (百万円)	1,317	903	△414
純資産 (百万円)	1,019	668	△350
自己資本比率 (%)	77.4	74.0	△3.4

①資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は903百万円となり、前連結会計年度末と比べて414百万円減少しました。その内訳は、現金及び預金の減少219百万円、売掛金の減少11百万円、有価証券の減少200百万円、棚卸資産の増加5百万円等によるものであります。

②負債の状況

負債は234百万円となり、前連結会計年度末と比べて63百万円減少しました。その内訳は、買掛金の減少7百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少20百万円、長期借入金の減少31百万円等によるものであります。

③純資産の状況

純資産は668百万円となり、前連結会計年度末と比べて350百万円減少しました。その内訳は四半期純損失354百万円の計上等によるものであります。

④その他の状況

自己資本比率は74.0%（前連結会計年度末は77.4%）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年7月20日に公表いたしました平成24年12月期の業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第2四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更による損益への影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社グループは、継続して営業損失及び営業キャッシュ・フローのマイナスを計上しており、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況（重要事象等）が存在しております。

当該重要事象等を解消するために、当社グループは、創薬支援事業においては更に拡販に努めることで売上の上積みを図るとともに、創薬事業においては研究開発をさらに推し進め、新薬候補化合物を製薬企業等に導出することで契約一時金等の収入を獲得してまいります。さらに、研究開発の効率化及び諸経費の節減等により販売費及び一般管理費の圧縮に継続的に取り組んでまいります。

以上により、早期の全社業績の黒字化を達成し、当該重要事象等が早期に解消されるよう取り組んでまいります。

なお、当社グループは事業活動を継続するための十分な手元資金を保有しております。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	701,634	482,485
売掛金	72,330	60,483
有価証券	200,000	—
商品及び製品	93,506	88,491
仕掛品	1,845	7,839
原材料及び貯蔵品	9,882	14,516
その他	43,962	49,260
貸倒引当金	△28	△26
流動資産合計	1,123,134	703,050
固定資産		
有形固定資産	55,011	61,881
無形固定資産	13,550	10,993
投資その他の資産		
投資有価証券	102,710	106,521
その他	23,201	20,628
投資その他の資産合計	125,912	127,149
固定資産合計	194,474	200,025
資産合計	1,317,608	903,076

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	7,223	—
1年内返済予定の長期借入金	69,216	49,116
未払金	25,907	25,128
未払法人税等	5,318	3,227
その他	29,143	26,943
流動負債合計	136,808	104,415
固定負債		
長期借入金	134,140	102,328
繰延税金負債	4,213	4,091
資産除去債務	23,262	23,609
固定負債合計	161,615	130,028
負債合計	298,423	234,444
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,125,632	2,125,632
資本剰余金	673,100	673,100
利益剰余金	△1,757,026	△2,111,530
株主資本合計	1,041,705	687,201
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△13,680	△10,202
為替換算調整勘定	△8,841	△8,366
その他の包括利益累計額合計	△22,521	△18,569
純資産合計	1,019,184	668,632
負債純資産合計	1,317,608	903,076

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
売上高	447,536	370,820
売上原価	144,013	158,815
売上総利益	303,523	212,005
販売費及び一般管理費	590,857	576,350
営業損失(△)	△287,334	△364,345
営業外収益		
受取利息	440	429
補助金収入	57,354	19,000
その他	2,282	763
営業外収益合計	60,077	20,193
営業外費用		
支払利息	2,496	2,141
為替差損	2,686	805
その他	357	610
営業外費用合計	5,540	3,557
経常損失(△)	△232,797	△347,709
特別損失		
固定資産除却損	—	148
減損損失	576	5,124
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	10,243	—
特別損失合計	10,819	5,272
税金等調整前四半期純損失(△)	△243,616	△352,981
法人税、住民税及び事業税	1,758	1,758
法人税等調整額	4,814	△235
法人税等合計	6,572	1,522
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△250,189	△354,504
四半期純損失(△)	△250,189	△354,504

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△250,189	△354,504
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△714	3,477
為替換算調整勘定	△1,143	474
その他の包括利益合計	△1,857	3,951
四半期包括利益	△252,047	△350,552
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△252,047	△350,552

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		
	創薬支援事業	創薬事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	428,336	19,200	447,536
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	428,336	19,200	447,536
セグメント利益又は損失(△)	71,727	△359,061	△287,334

(注) セグメント利益又は損失の合計は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しており差額はありません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結累計期間において、重要な事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		
	創薬支援事業	創薬事業	計
売上高			
外部顧客への売上高	370,820	—	370,820
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	370,820	—	370,820
セグメント利益又は損失(△)	15,076	△379,421	△364,345

(注) セグメント利益又は損失の合計は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しており差額はありません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結累計期間において、「創薬事業」に係る減損損失5,124千円を計上しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

平成24年10月4日開催の当社取締役会の決議により、小野薬品工業株式会社との業務資本提携に関する基本契約の締結及び同社に対する第三者割当による新株式の発行を決議し、平成24年10月23日付で払込が完了しております。第三者割当による新株式発行の概要は以下のとおりであります。

(1) 発行株式の種類及び数	普通株式 14,090株
(2) 発行価格	1株につき 20,599円
(3) 発行価格の総額	290,239,910円
(4) 資本組入額	1株につき 10,300円
(5) 資本組入額の総額	145,127,000円
(6) 募集又は割当方法	第三者割当による
(7) 払込期日	平成24年10月23日
(8) 割当先	小野薬品工業株式会社
(9) 資金の使途	創薬事業における研究開発費用